

## “交通事故なし（ゼロ）運動” 夏の味覚「西尾梨」とかけて啓発運動

9月6日、地元で採れた『西尾梨』のPRを兼ねて“交通事故なし（ゼロ）運動”を西尾市憩の農園で行います。JA西三河の主催で、西尾市・西尾警察署と連携した啓発運動。新たな地域ブランドとして2018年に名称変更した『西尾梨』の周知・地産地消による地域振興を図るとともに、市内で多発する高齢者の死亡事故に対する注意喚起を目的とします。また、啓発運動を通じてJAの自己改革方針でもある「安心して暮らせる地域づくり」をめざし、地域貢献に寄与します。

当日は、啓発資材の配布、「豊水」の試食販売に加えて先着150名様へ無料配布を行います。

- 【開催日】 9月6日（金）  
【時間】 午前10時～  
【場所】 憩の農園 正面玄関付近  
（西尾市齊藤町大割28）

※西尾梨の無料配布は午前10時より行います。  
※取材される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。  
※雨天等天候不順の場合、行わない場合があります。  
その場合には、事前に取材のご連絡を頂いた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。



地域農業応援企画！

### 高齢者の交通死亡事故多発を受けて、JAならではの啓発運動！

愛知県における令和元年7月末時点の  
交通事故死者数は76人にのぼり、  
**うち20人は西三河地域で発生。**

高齢者が全体の半数以上を占め、  
特に車両単独や道路横断中の事故が多発しています。  
平成22年と比べ、死者数は半数ほどに減少しているものの、  
飲酒運転やシートベルト非着用による事故は  
まだまだ多いのが現状です。

【参照】愛知県 交通死亡事故発生状況（令和元年7月末 確定数）



※上記のPR資材等とあわせて、  
組合員・利用者へ「西尾梨」を配布します



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）  
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形  
TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818  
HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発出しています。  
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

# 地元で採れた夏<sup>夏</sup>の味覚 ジューシーな「西尾梨」を食べよう

★西尾市内で生産される「西尾梨」はこの4種類！

プレゼントした梨  
はこちら！

「幸水」 7月下旬～8月中旬



市内生産量の半数以上を  
占める人気品種！  
やわらかい果肉で果汁も  
たっぷり。

「豊水」 8月下旬～9月中旬



果肉がやわらかく、みず  
みずしい豊水！  
口の中に広がるさわやか  
な酸味を楽しんで。

「あきづき」 9月中旬～9月下旬



シャリッと食感とみずみ  
ずしさの絶妙な balan  
ス！酸味は控えめ、上品  
な香りと甘みが特徴。

「新高」 9月下旬～10月上旬



10月まで楽しめる品  
種。大玉で保存性が高  
く、しっかりとした食感  
と優しい甘さを感じて。



## 安全・安心な「西尾梨」の特徴って何だろう？

### 1. 有袋栽培

産地全体で有袋栽培を行っているのは西三河地域で西尾市のみ！  
梨ひとつひとつに袋がけを行い、収穫まで大切に育てます。  
⇒「袋がけ」により、果皮を美しく仕上げるとともに、  
病害虫被害を抑え農薬使用量・回数を減らします。



### 2. 産地全体で取り組むIPM(総合的害虫管理)

こうしんかくらんざい

#### ● 交信攪乱剤(性フェロモン剤「コンフューザーN」)

交尾を連続的に阻害し交尾率を低下させ、害虫の発生を抑えることで農薬剤費と労働力の低減につなげます。

#### ● 天敵を利用し、虫をもって虫を制す！

天敵を増やし数か月かけて放飼できる「バンカーシート」を活用し、化学農薬をできるだけ使わずに防除の難しい害虫をやっつけます。



産地全体で“環境に優しい防除”に努めて  
安全・安心な梨を生産しています。  
「西尾梨」を食べて、地域農業を応援しましょう！